

# 東西

# 風景版画の出会い

ターナーから浮世絵、近代版画までの珠玉



(上) 歌川広重《木曾街道六拾九次之内 須原》天保後期頃 (下) ウィリアム・ターナー『研鑽の書』: パーゼル 1807年

## 2017年2月10日(金) - 3月5日(日)

開館時間 = 10:00 ~ 19:00 (入館は閉館の30分前まで)  
※金曜日・土曜日は20:00まで

会場 = 大分県立美術館 3階 展示室B

観覧料 = 一般 300(250)円 大学生・高校生 200(150)円

- ( )内は20名以上の団体料金 ●中学生以下は無料 ●障がい者手帳等をご提示の方とその付添者(1名)は無料
- 学生の方は入館の際、学生証をご提示ください。
- コレクション展の半券で、本展を団体料金でご覧いただけます。
- また、本展観覧券の半券で、コレクション展を団体料金でご覧いただけます。
- 本展及びコレクション展の観覧券をセットでお買い求めいただける場合は、それぞれ団体料金でご覧いただけます。

主催/大分県立美術館、公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団 共催/大分合同新聞社  
後援/大分県、大分県教育委員会、西日本新聞社、NHK大分放送局、OBS大分放送、TOSテレビ大分、  
OAB大分朝日放送、エフエム大分、OCT大分ケーブルテレコム

OPAM 大分県立美術館  
Oita Prefectural Art Museum

# 東西風景版画の出会い ターナーから浮世絵、近代版画までの珠玉

中世ヨーロッパで誕生した銅版画は、革新的な印刷技術として普及する一方、その表現の可能性を求めて、多くの画家たちがこの技法による作品を手がけました。中でも精緻な描写で都市や自然の景観を実在感豊かに描き出した風景版画は人気を博し、世界中に伝播。江戸時代中期に日蘭交易を通じて日本に伝わると、東洋画にはない奥行感のある空間表現が驚きとともに受け入れられ、わが国の風景表現に新たな展開をもたらすとともに、浮世絵風景版画の誕生を促すことになりました。

本展は、当館の版画コレクションより、銅版画による風景表現の多様性と技術の進歩を示した19世紀イギリスの風景画家ウィリアム・ターナーの『研鑽の書』全99点を一堂に展示するとともに、葛飾北斎や歌川広重の浮世絵から、橋口五葉、川瀬巴水、吉田博らの近代版画へと至るわが国における風景版画の展開を紹介。東西の出会いを通して花開いた版画芸術の魅力に迫ります。技巧を凝らした小さな画面に広がる画家たちの小宇宙をお楽しみください。



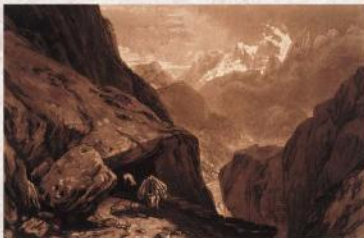
ウィリアム・ターナー『研鑽の書』：ワイ川 1812年



ウージェーヌ・イザベイ  
《Six Marines》：港内 1833年



歌川広重  
《名所江戸百景 両国花火》 1856年



ウィリアム・ターナー『研鑽の書』：サン・ゴタル峠 1808年



マックス・クリンガー  
《四つの風景》：街道 1883年



ウィリアム・ターナー『研鑽の書』：ヨークシャーの海岸 1811年



川瀬巴水《別府乃朝》 1928年



歌川豊春《新版浮絵 田子ノ浦春の富士》安永-天明期頃



葛飾北斎《富士三十六景 五百らかん寺さゝるどう》 1831-1834年



橋口五葉《耶馬溪》 1918年



吉田博《五色原》 1926年

## ◎ギャラリー・トーク

日時：2月11日(土) 13:30~14:30 / 2月25日(土) 13:30~14:30  
3月3日(金) 18:30~19:30

場所：大分県立美術館 3階 展示室B

案内：当館学芸員

参加費：無料(要展覧会観覧券)

申込：不要

## ◎関連イベント

おおい国際交流プラザ 国際理解講座 もっと知りたい~イギリス編~

日時：2月18日(土) 14:00~16:00

場所：iichiko 総合文化センター BF1 映像小ホール

講師：ミリアム・スターリング氏(大分県国際交流員/イギリス出身)

参加費：500円(事前予約必要)

申込先：おおい国際交流プラザ

電話：097-533-4021 FAX：097-533-4052

メールアドレス：in@emo.or.jp



# 大分県立美術館

〒870-0036 大分市寿町2番1号

TEL：097-533-4500 FAX：097-533-4567 <http://www.opam.jp>

[交通のご案内] JR 大分駅府内中央口(北口)から徒歩15分・大分ICから車で10分